

光受寺通信

NO.190

R6・11・1
発行元 光受寺



気が付けば今年も残りわずかになってしまいました。新年早々には能登半島に震度7の巨大地震が発生し、想像を絶する被害が発生いたしました。

多くの命が失われ、インフラは壊滅的な状況となり、生活基盤が根こそぎ崩壊してしまいました。さらには、復興半ばの9月には観測史上最大の雨量が観測され、またしても多くの人的・自然被害が発生しました。いかに我慢強いと言われているこの地方の人たちの心持もすっかり打ち砕かれてしまったことでしょう。

そんな状況でありながらも、地域の住民からは「よかったね」。よかったね」という声がボランティア活動をされていた方に聞こえてきたという。何がよかったのか不審に思い確かめてみると、「もし、ここに原発があったなら、今頃どうなっていたことかと思うからですよ」と。

歴史を紐解けば、1975年に石川県珠洲市に原発の建設計画が持ち上がり、28年もの間、賛否が二分されていたことを思い出します。そして、2003年12月には、その計画は凍結されたのです。もしも原発が稼働していたらと思うと、ゾッとします。避難道路は寸断され、孤立した住民はどうなってしまうていたのでしょうか。非難することもできず助けに行くことさえできないのですから。

「我々の想定外は、仏さんの想定内」ということが言われます。再稼働の条件が整ったか否かによって判断されていくことの恐ろしさを感じてしまいます。人智の空しさを思い知らされる日が来なければと、願うばかりです。

一年に一度は

お寺へお参りをしましょう

令和6年度

報恩講

午前・午後

〇十二月八日(日) 午前9時半より お斎あり

午後3時まで

法話 倉住 秀悟師

門徒総会があります。

おみがき

12月20日(月) 午前9時〜

多くの方のご協力よろしくお願ひします。

報恩講終了後

三時〜四時(予定)

一年間の光受寺の行事(報告・計画)会計(予算・決算)等をいたします。多くの方々にご参加いただき、ご意見・ご要望をお聞かせいただければと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

十日講

十一月十一日(月)は光受寺において十日講が勤められます。

このお勤めは「教如上人」東本願寺の初代のご門主のご遺徳を偲んで執り行われるお勤めです。

午前9時半〜 お勤め

法話 法話 等學寺住職

多くのご参詣をいただけますように。

実りの秋



酷暑を乗り越え、豊かな実りの収穫の時期がやってきました。今年の思わぬ米不足でお米のありがたさを痛感しました。



今月の掲示板

諸法無我

しょうぼうむが

「この世の全てのものは、影響し合って存在している。自分一人が独立して存在することはありえない。」と云うことだ。

今の私が「ここ」にあるのは、多くの「縁」によって存在している。「おかげさまで今がある」。そう実感させられていくのです。



星野富弘さんの詩と絵を鑑賞。

ある方は、この会に参加しようと思った理由を、光受寺の掲示板に書かれてあった妙好人の言葉が縁で参加するようになったとか、またある方は、家に自分の居場所がない悩みとかがあって、とか。自分がお寺に足を運ぶことになったきっかけを話してくださいました。

その他、山門くぐり、お寺に身を運ぶことで、お念を称える身にさせてもらったとか、「すべてかりもの」という言葉の実感を実生活で味わっているとか、病気を縁に家族のありがたさを実感し、幸せな自分に気づいたとか、お寺は悩み苦しみからの開放の場となっているとか、命の尊さを説きながらも戦争によって殺し合う醜さをも人間は合わせもっているとか。またある方は遺偈（ゆいげ）＝遺言を書かれ、「いつでも阿弥陀様のお慈悲に包まれながら死なせていただきます」という内容のことを書き残されているそうです。8年経った今もその気持ち変わらないと、お話しくださいました。

この会を始めてから15年ほど。皆さんそれぞれに思いをもって、今を懸命に生きていらっしゃるお姿に感動いたしました。

久しぶりの学習会となりました。

十月十九日（土） 午後二時～三時半

今年の夏の暑さから2か月間の間が空いたことから久しぶりの開催となりました。この会で**現在学んでいることは『歎異抄』**ですが、ようやく前半の「真名序」といわれる第1条から第10条までが終わったことから、ちょっとひと休みに。そこで**今回は、お寺の掲示板から印象に残った言葉を話題に**、皆さんからの感想などを自由にお話しいただく機会としました。

お寺サロン開催

十月十七日（木） 廣専寺

午後1時半～2時半

十月とはいえ気温は三十度近い。季節柄長袖は着ているが、汗がにじみ出てくるほどだった。

それにもかかわらず20数名の参加者があったことはありがたいことだった。

光受寺の若院からお念仏の話から始まり、廣専寺の若院からは正信偈の解説がなされた。お茶を頂きながらリラックスタイムで雰囲気が進められていき、「本願名号正定業々如衆水入海一味」までが終わった。

来年中には、正信偈の解説は終了予定とのことであった。

来月は光受寺において開催予定となるが、この会を開催してから二周年を迎えることになる。記念となるこの月は当山若坊守の**エレクトーンミニコンサート**を開く予定をしている。ぜひ多くの方に参加いただけたらと思っています。



お知らせ

ぜひご参加ください。お待ちしております。

お寺サロン

十一月二十一日（木） 光受寺

光受寺学習会

十一月十六日（土） 十四時～十五時半

歎異抄 第11条 予定

新聞原稿募集中!

日頃の思い、趣味、旅行記、疑問・質問等どんなことでもよろしく。